



第30集 日本の手仕事道具 - 秋岡コレクション 企画展 「奥深い道具の世界 - 職人が愛用した手道具 -」

【展示概要】

職人が使用した様々な木工手道具を機能別、職種別に展示します。中でも鉋を展示のメインとして、少しずつ形状の違う道具の意味と、それら道具の使い方などの解説をあわせて展示します。

様々な種類の道具を一度に見られる機会となります。

企画展は感染対策を講じたうえで開催いたします。ぜひ、お越しください。

※ご来館される皆さまには、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。

【会期】令和3年10月9日(土)～11月22日(月)

火・水休館(祝祭日は除く/11月3日は開館)

【時間】10:00～16:00

【会場】どま工房

企画展 モノづくりワークショップ
関連企画 「職人の道具を使って作ってみよう！」

- 特殊鉋を使ってカッティングボードを作ろう -

【日程】①10月31日(日)

②11月7日(日)

③11月14日(日)

【時間】13:00～16:00

【場所】どま工房

【定員】各回4名

【講師】那珂 琴絵(どま工房主任研究員)

【参加費】1,500円(当日持参)

【対象年齢】18歳以上の置戸町民

【参加受付】10月4日(月)～10月20日(水)

※森林工芸館(52-3170)までご連絡ください。受付の際に希望する日にお伝えください。

【読み、書き、そろばん】

室町時代末頃、中国から日本に伝わったとされる「そろばん」は、江戸時代に広く普及し、当時の教育機関である寺子屋では、「読み、書き、そろばん」といわれるほど重要視されていました。

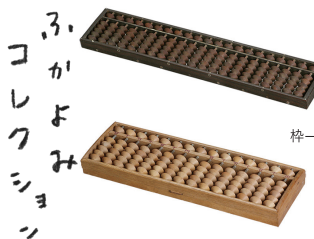
日本の現存するそろばんで由緒のはっきりしている最も古いものは、前田利家が文禄の役(文禄元年、1952年)で名古屋の陣中の際に使用されたといわれるもの

今日は何を知ろうか

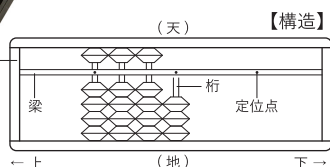
で、現在一般的に使用される梁上一珠、梁下四珠とは異なり、梁上二珠、梁下五珠が通常だったようです。

現在では一般に教育として学ぶ機会は減少していますが、習い事としての人気は高く、今日でも多くの子ども達が学んでいます。

また、日本では古くから**島根県の「雲州そろばん」**と**兵庫県の「播州そろばん」**が二大産地として有名であり、いずれも伝統的工芸品の指定を受けています。



【播州そろばん】



コレクション

今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します!



商品名: だ円皿 大/中/小
サイズ: 縦 175～230mm
横 200～260mm
高さ 25mm
価格: 3,080～4,950円(税込)
樹種: セン・クルミ他

丸い器やお皿が多い食卓に使い勝手の良いだ円皿を取り入れてみませんか?
(工房あお作)
少し厚みがあり縁取りされた、だ円皿はサイズ違いが三種類。
小は可愛らしい印象から出産祝いやお食い初めにお勧めです。大は一枚でお洒落な食卓に変わることでしょう。
樹種も豊富でそれぞれ雰囲気が違います。
実りの秋、お気に入りの一枚でゆつくりとお食事を楽しんでみてはいかがでしょうか。



ショップ販売員 平

今回は「手削りで作るツール」。鉋や鋸などの手道具をきちんと使って作ることをテーマに、作業に合わせて様々な手道具の扱い方を知り、実際に使って製作しました。



①墨付けをしよう

さしがねを使って作業の準備をしよう



②ほぞの加工をしよう

「のみ」と「玄能」を使って「ほぞ」を作っていくよ



③角材を鉋で丸く削ろう

太さを確認しながら「鉋」で角材を丸棒に削っていくよ



④角度をつけて削ろう

均等に削れたら角度をつけて削り先細や先広に整えるよ



⑤貫の位置を決めよう

座面、脚を仮組みして貫の位置を決めよう



⑥くさびを打ち固定しよう

本組みの最後、くさびを打ちしっかり固定するよ

モクモクさん 今月のモノづくりはなんですか?

【木に親しむ日】の木工教室 **今月は!**
について知ってみよう!!

7月から9月にかけて実施している「木に親しむ日」。この教室では、どんなモノづくりが行われているのか見てみよう!



キホンノキ 【木に親しむ日】とは?

1981年、置戸町が木材の町であることを再認識して、生活の場にもっと木を取り入れよう!と、毎月18日を「木に親しむ日」としました。図書館には木に関する専用書架が開設され、公民館の事業には木工に関するテーマが組み込まれていきました。現在の形になってからは7回目になります。